

NJC Salon Manager Ver6

マニュアル

基本的な設定 篇



■ 目次

• 基本操作		3
• お店情報の設定		10
• スタッフの設定		17
• 技術/商品の設定		24
• プリンタの設定		47

基本的な操作は Windows に準拠します。

画面上のボタンをマウスでクリックすると、その機能が働きます。

入力は、ひとつの項目を入力後、Enter キー または TAB キーで、次の項目に移動することが出来ます。

項目に戻る時は、Shift キーを押しながら Enter または TAB キーを押します。

↑ ↓ キーで項目の移動をすることも可能です。

ESC キーを押すと、入力を取り消され、元の状態に戻ります。
また機能の中止を行います。

F2 キーを押すと、項目内の文字の「全選択」「解除」を切り替えられます。

「▼」ボタンをマウスでクリックすると、一覧表から参照入力することができます。
F4 キー、Shift+End または Alt+↓ でも同じ動作を行います。

F1～F12 のファンクションキーは画面によって役割が異なりますが、おおむね以下のような役割を持っています。

F1:出力 印刷やファイルの出力など

F2:文字列の全選択と解除

F3:削除 表示されているデータを削除します。

F4:参照

F5:検索

F6:新規

新たにデータを作成します。

F7:登録または実行

F8:その他の機能

F9:終了、閉じる

現在の機能を終了します。

日付の入力

日付の入力では、日付であると思われるさまざまな表現を自動的に正規の表現（西暦）に修正します。

2012/01/01 のような YYYY/MM/DD が正規の表現です。

1 2 0 1 0 1

2012・01・01

を入力し、Enter を押すと、自動的に2012/01/01に修正されます。

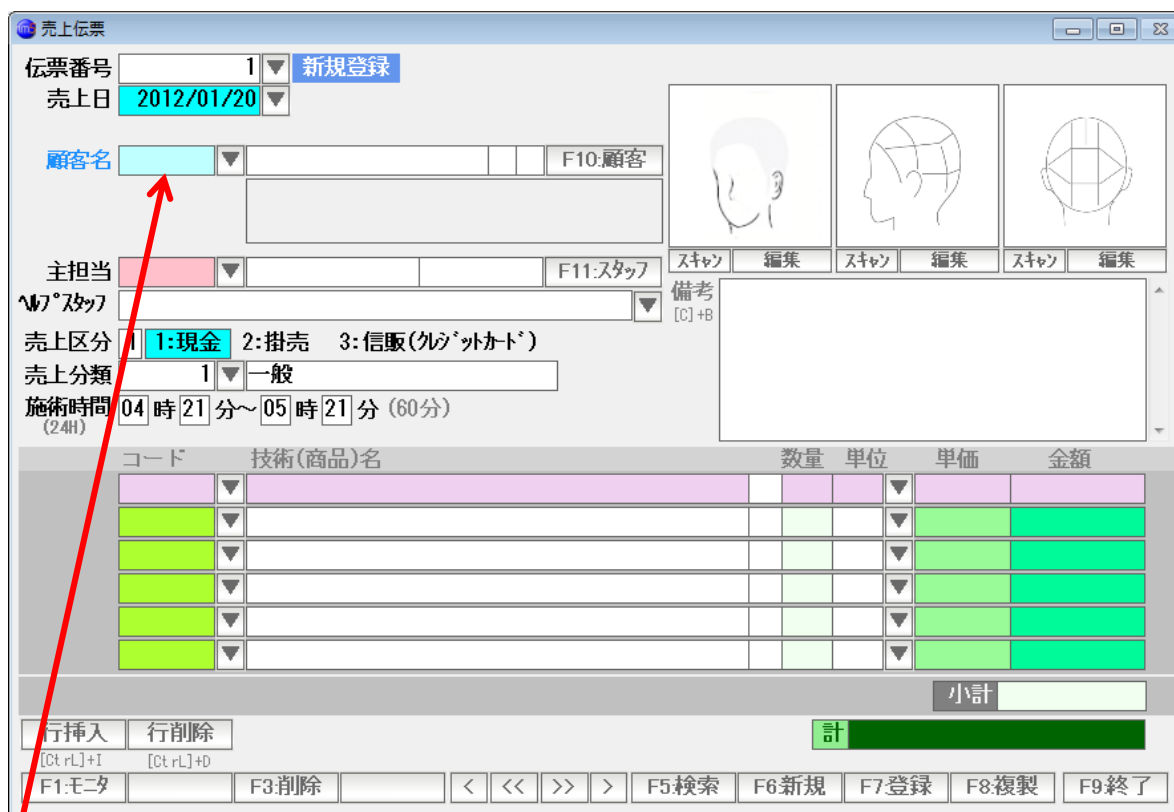
また 0101 と入力しEnterを押すと、自動的に年が追加され2012/01/01と修正されます。

年号の略号(M,T,S,H) も使えます。

H230101 や H23/01/01 は自動的に 2012/01/01 に修正されます。

参照入力

顧客・スタッフ・商品などの「マスタ」を参照入力するには、さまざまな方法があります。



通常は「コード番号」を入力します。



数字の「4」を入力すると、あらかじめマスタに登録された名前・主担当が表示されます。

売上伝票

伝票番号 1
売上日 2012/01/20

顧客名 ▼ F10:顧客

主担当 ▼ F11:スタッフ

売上区分 1 1:現金 2:掛売 3:信販(クレジットカード)
売上分類 1 一般

施術時間 04時22分~05時22分 (60分)

コード 技術(商品)名 数量 単位 単価 金額

小計

行挿入 行削除 計

F1:終了 F3:削除 < << >> > F5:検索 F6:新規 F7:登録 F8:複製 F9:終了

入力項目の右隣にある「▼」ボタンをクリックするか、または F4 キーを押すか
Shift+End キーを押すか Alt+↓を押すと

顧客の検索

コード/カルテNo
フリガナ
電話番号/メールアドレス
住所
分類

F5:再検索

1 現金客(-)

コード	加No	分類	顧客名	電話番号	携帯	住所	PCメール	携帯メール
1	1		現金客					
2	2		信販客					
3	3		その他一般客					
4	4		相 上男	076-287-5097		金沢市入江2-28		
5	5		柿 久恵子					
6	6		佐志 守瀬三					
7	7		館 伝人					
8	8		名荷 めね乃					
9	9		葉比 不平方					
10	10		間美 六鳴猛					
11	11		屋井 由江代					
12	12		羅利 留冷朗					
13	13		和井 宇恵雄					

コード F6:新規追加 失客も表示する F7:決定 F9:中止

一覧窓が表示されます。ここから↑↓キーで選択し「F7:決定」ボタンまたはF7 キー
を押すと、入力できます。
マウスで、ダブルクリックしても OK です。

顧客の検索

コード/カルテNo

フリガナ F5:再検索

電話番号/メールアドレス

住所

分類 ▼

1 現金客(-)

コード	加No	分類	顧客名	電話番号	携帯	住所	PCメール	携帯メール
1	1		現金客					
2	2		信販客					
3	3		その他一般客					
4	4		相 上男	076-287-5097		金沢市入江2-28		
5	5		柿 久恵子					
6	6		佐志 守瀬三					
7	7		館 伝人					
8	8		名荷 めね乃					
9	9		葉比 不平方					
10	10		間美 六鳴猛					
11	11		屋井 由江代					
12	12		羅利 留冷朗					
13	13		和井 宇恵雄					

コード F6新規追加 ☐ 失客も表示する F7:決定 F9:中止

ここに「コード」と表示されていますが、ここをクリックして

11	1
12	1
13	1

フリガナ F6新規追加

「フリガナ」に変えることができます。

フリガナになっているときは、

売上伝票

伝票番号 1

売上日 2012/01/20

顧客名 F10顧客

主担当 F11スタッフ

備考

売上区分 1:現金 2:掛売 3:信販(外カード)

売上分類 1:一般

施術時間 04時22分~05時22分 (80分)

コード	技術(商品)名	数量	単位	単価	金額

小計

行挿入 行削除 計

F1モニタ F3削除 F5検索 F6新規 F7登録 F8複製 F9終了

項目にカナの一部を入力し Enter を押すと

顧客の検索

コード/カルテNo

フリガナ F5:再検索

電話番号/
住所
分類

4 相 上男(-)						
コード	加付No	分類	顧客名	電話番号	携帯	住所 PCメモ 携帯メモ
4	4		相 上男	076-287-5097		金沢市入江2-28

F6新規追加 ☐ 失客も表示する F7決定 F9:中止

自動的に「力才検索」され一覧表示されます。

もう一度「フリガナ」の箇所をクリックすると「コード」入力に戻ります。

一覧窓には「F6:新規追加」というボタンが用意されています。
これを押すと、マスタに追加登録することができます。

[illegible]

多くの場合画面には「F9:中止」「F9:閉じる」「F9:終了」というボタンがあります。これを押すと、作業を中止、画面を閉じる、終了するなどの操作ができます。

データの削除

削除可能なデータの場合「F3:削除」というボタンがあります。
F3 キーを押すか、ボタンをクリックすると削除できますが

このような画面が表示されます。

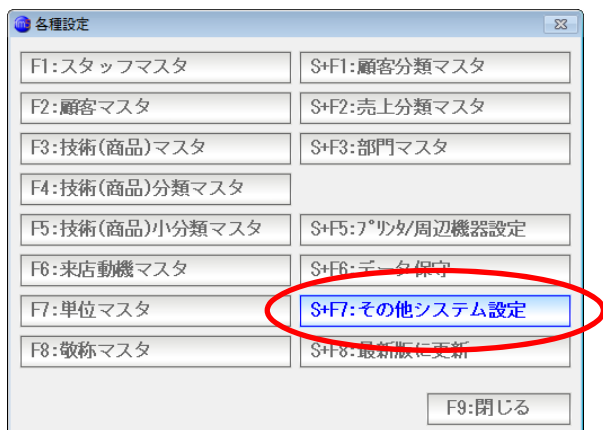
システム設定の削除用パスワード（初期値は99999）を入力し、F7：OK を押すと実際に削除することができます。

削除されたデータを復帰することができませんので
十分に気をつけてください。

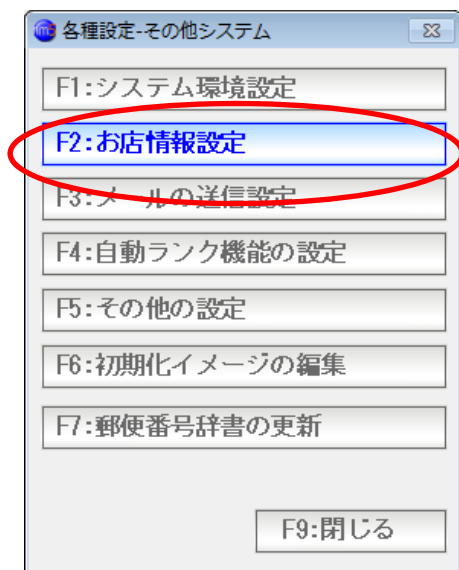
お店情報の設定



F8:各種設定を押します。



S+F7: その他の設定を押します。



F2:お店情報設定 を 押します。

お店情報設定

お店名(または社名)

〒 住所→〒

住所1

2

電話番号 FAX番号

代表者名

開店時間(24H) ~

毎月の締日 (末日は31)

毎年の締日 月 日 (標準は 12月31日)

消費税設定の初期値 1:税別 ☒ 2:税込 3:非課税

消費税率 (%) 標準=5.0%

端数処理方法 1:切捨 ☒ 2:切上 3:四捨五入

ポイント 1:金額*イント 2:商品毎*イント 3:しない

売上単価の連動 1:来店ランクと連動 2:金額ランクと連動 3:しない

標準施術時間 (分) 標準=60分

来店予想計算の評価期間 (日) 標準=712日

F7:設定 F9:中止

お店名・所在地などを入力
します。

お店情報設定

お店名(または社名)

〒 住所→〒

住所1

2

電話番号 FAX番号

代表者名

開店時間(24H) ~

毎月の締日 (末日は31)

毎年の締日 月 日 (標準は 12月31日)

消費税設定の初期値 1:税別 ☒ 2:税込 3:非課税

消費税率 (%) 標準=5.0%

端数処理方法 1:切捨 ☒ 2:切上 3:四捨五入

ポイント 1:金額*イント 2:商品毎*イント 3:しない

売上単価の連動 1:来店ランクと連動 2:金額ランクと連動 3:しない

標準施術時間 (分) 標準=60分

来店予想計算の評価期間 (日) 標準=712日

F7:設定 F9:中止

お店の営業時間を入力します。

お店情報設定

お店名(または社名)

〒 住所→〒

住所1

2

電話番号 FAX番号

代表者名

開店時間(24H) ~

毎月の締日 (末日は31)

毎年の締日 月 日 (標準は 12月31日)

消費税設定の初期値 1:税別 ☒ 2:税込 3:非課税

消費税率 (%) 標準=5.0%

端数処理方法 ☒ 1:切捨 ☐ 2:切上 3:四捨五入

ポイント ☒ 3: 1:金額*ポイント 2:商品毎*ポイント 3:しない

売上単価の連動 ☒ 3: 1:来店ランクと連動 2:金額ランクと連動 3:しない

標準施術時間 (分) 標準=60分

来店予想計算の評価期間 (日) 標準=712日

締め日、税設定を行います。

注意！！ 税設定は「税込」がベスト！

本製品では税別・税込・非課税など、消費税の設定や計算が行えます。

例えば技術単価 1000 円と設定しておいて、自動消費税計算で 1050 円と売上（レジ）にすることも可能ですが、「税込」のままご利用いただくことをオススメします。

実際の税計算では 例えば 税込5万円という金額は計算上存在しません。

計算してみると 49999円か50001円にしかありません。

このような計算できない金額がたくさん存在します。

お客様へのご請求は50000円税込も、当然あります。

売上（レジ）で50000円は出来ません、では大変困ります。

また他のサービス、割引やポイントなども、実際には大半が税込みのサービスです。

消費税自動計算では、たいへん難解になることもあります。

帳簿類もほとんどは税込みで管理されていることが多いと存じます。

帳簿管理が「税込」の場合は、サロンマネージャーの税管理もぜひ「税込」で管理してください。

結果的に一番わかりやすく使いやすいのは「税込」設定です。

お店情報設定

お店名(または社名)

〒 住所→〒

電話番号 FAX番号

代表者名

開店時間(24H) ~

毎月の締日 (末日は31)
 毎年の締日 月 日 (標準は 12月31日)

消費税設定の初期値 1:税別 ☒ 2:税込 3:非課税
 消費税率 (%) 標準=5.0%

端数処理方法 1:切捨 ☒ 2:切上 3:四捨五入

ポイント 1:金額*イント 2:商品毎*イント

売上単価の連動 1:来店ランクと連動 2:金額ランクと連動

標準施術時間 (分) 標準=60分

来店予想計算の評価期間 (日) 標準=712日

F7設定 F9中止

ポイントは PROFESSIONAL 版のみの機能になります。
 30日間は、試しに使ってみることも出来ます。
 使ってみたい方は、「ポイントの使い方」マニュアルを参照してください。

お店情報設定

お店名(または社名)

〒 住所→〒

電話番号 FAX番号

代表者名

開店時間(24H) ~

毎月の締日 (末日は31)
 毎年の締日 月 日 (標準は 12月31日)

消費税設定の初期値 1:税別 ☒ 2:税込 3:非課税
 消費税率 (%) 標準=5.0%

端数処理方法 1:切捨 ☒ 2:切上 3:四捨五入

ポイント 1:金額*イント 2:商品毎*イント

売上単価の連動 1:来店ランクと連動 2:金額ランクと連動

標準施術時間 (分) 標準=60分

来店予想計算の評価期間 (日) 標準=712日

F7設定 F9中止

お客様のランクによって、売上単価が変わるような場合に使います。
 通常は「しない」にしておきます。

お店情報設定

お店名(または社名)

〒 住所→〒

住所 1
2

電話番号 FAX番号

代表者名

開店時間(24H) ~

毎月の締日 (末日は31)
毎年の締日 月 日 (標準は 12月31日)

消費税設定の初期値 1:税別 ☒ 2:税込 3:非課税
消費税率 (%) 標準=5.0%

端数処理方法 1:切捨 ☒ 2:切上 3:四捨五入

ポイント 1:金額*ｲﾝﾄ 2:商品毎*ｲﾝﾄ 3:しない

売上単価の連動 1:来店ﾗﾝｸと連動 2:金額ﾗﾝｸと連動 3:しない

標準施術時間 (分) 標準=60分

来店予想計算の評価期間 (日) 標準=712日

F7設定 F9中止

標準的な施術時間を分で設定します。

お店情報設定

お店名(または社名)

〒 住所→〒

住所 1
2

電話番号 FAX番号

代表者名

開店時間(24H) ~

毎月の締日 (末日は31)
毎年の締日 月 日 (標準は 12月31日)

消費税設定の初期値 1:税別 ☒ 2:税込 3:非課税
消費税率 (%) 標準=5.0%

端数処理方法 1:切捨 ☒ 2:切上 3:四捨五入

ポイント 1:金額*ｲﾝﾄ 2:商品毎*ｲﾝﾄ 3:しない

売上単価の連動 1:来店ﾗﾝｸと連動 2:金額ﾗﾝｸと連動 3:しない

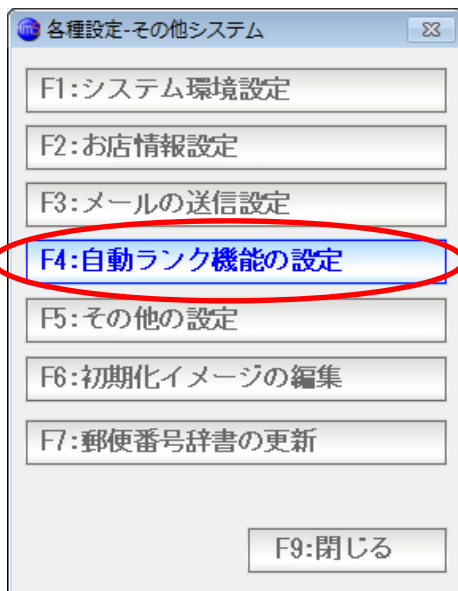
標準施術時間 (分) 標準=60分

来店予想計算の評価期間 (日) 標準=712日

F7設定 F9中止

来店予想を行うための来店周期や、自動ランクなどの評価期間を設定します。
通常はこのままご利用ください（2年前までを評価します）

「F7：設定」を押して画面を閉じます。



次に自動ランクを設定しますF 4：自動ランク機能の設定をクリックします。

自動ランク機能の設定

来店回数ランク 2 1:トータル期間 2:設定評価期間 3:手動

ランク	回数	条件
ランクA	10	回以上来店
ランクB	6	回以上来店
ランクC	3	回以上来店
ランクD	1	回以上来店
ランクE	0	回(新規または失客)

金額ランク 2 1:トータル期間 2:設定評価期間 3:手動

ランク	金額	条件
ランクA	300000	円以上
ランクB	200000	円以上
ランクC	100000	円以上
ランクD	50000	円以上
ランクE	20000	円以上
ランクF	10000	円以上
ランクG	8000	円以上
ランクH	5000	円以上
ランクI	3000	円以上
ランクJ	0	円以上(新規または失客)

F1:今すぐ再評価する F7:設定 F9:中止

例えば、来店回数ランク 2：設定評価期間は先ほど設定した712日（2年間）を調べ10回以上来店されていたらAランク、6回以上ならBランク・・・とランクが決定されます。

自動管理しない場合には、3：手動を選びます。

設定できたら「F 7：設定」を押して画面を閉じます。

各種設定-その他システム

F1:システム環境設定

F2:お店情報設定

F3:メールの送信設定

F4:自動ランク機能の設定

F5:その他の設定

F6:初期化イメージの編集

F7:郵便番号辞書の更新

F9:閉じる

そのほかの設定を行います。F 5：その他の設定を押します。

その他の設定

●顧客設定

標準の敬称

〒→住所 1:都道府県あり 2:都道府県なし

地図表示 1:GoogleMap 2:MapFAN

●予約管理表

営業時間の前後 分まで表示する

時間グリッド 分毎

本日から 日前までの予約を有効

最終来店日の 日後までは無効

本日から 日後以降の予約は警告する

●顧客マスタ一覧表示

売上履歴 1:表示する 2:しない

予約 1:表示する 2:しない

送信メール 1:表示する 2:しない

●マスタ一覧表示

日分表示する

●売上入力

レジ精算 1:する 2:しない

自動雑品番入力 1:する 2:しない

雑品番 ▼ 雑品番

F7:設定 F9:中止

通常は、このままご利用ください。

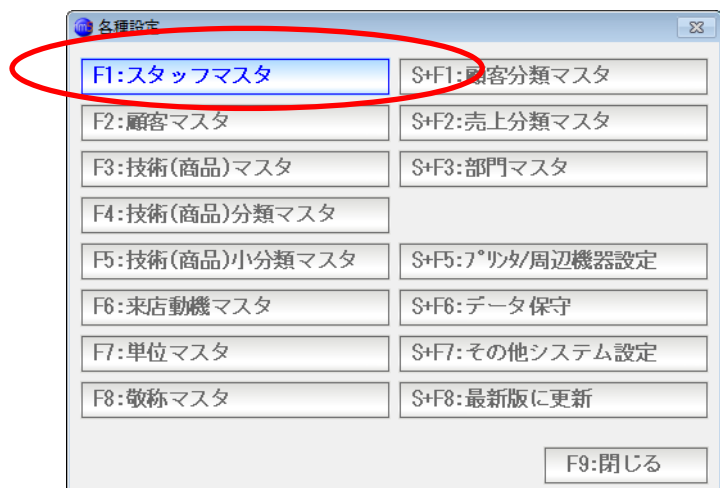
詳細は詳細設定マニュアルを参照ください。「F 7：設定」を押します。

スタッフの設定

担当スタッフを登録します。



F8:各種設定をクリック、



F1:スタッフマスタをクリックします。

「はい」をクリックすると
登録され、新しいマスタが表示されます。

続いて、別のスタッフを入力し、登録していきます。
入力したデータを確認するために「F5：検索」を押します。

F9:中止

データを削除する場合には、このような確認窓が表示されます。パスワードを入力しF7:Okをクリックすると、削除されます。(パスワードは初期値は「99999」です。)

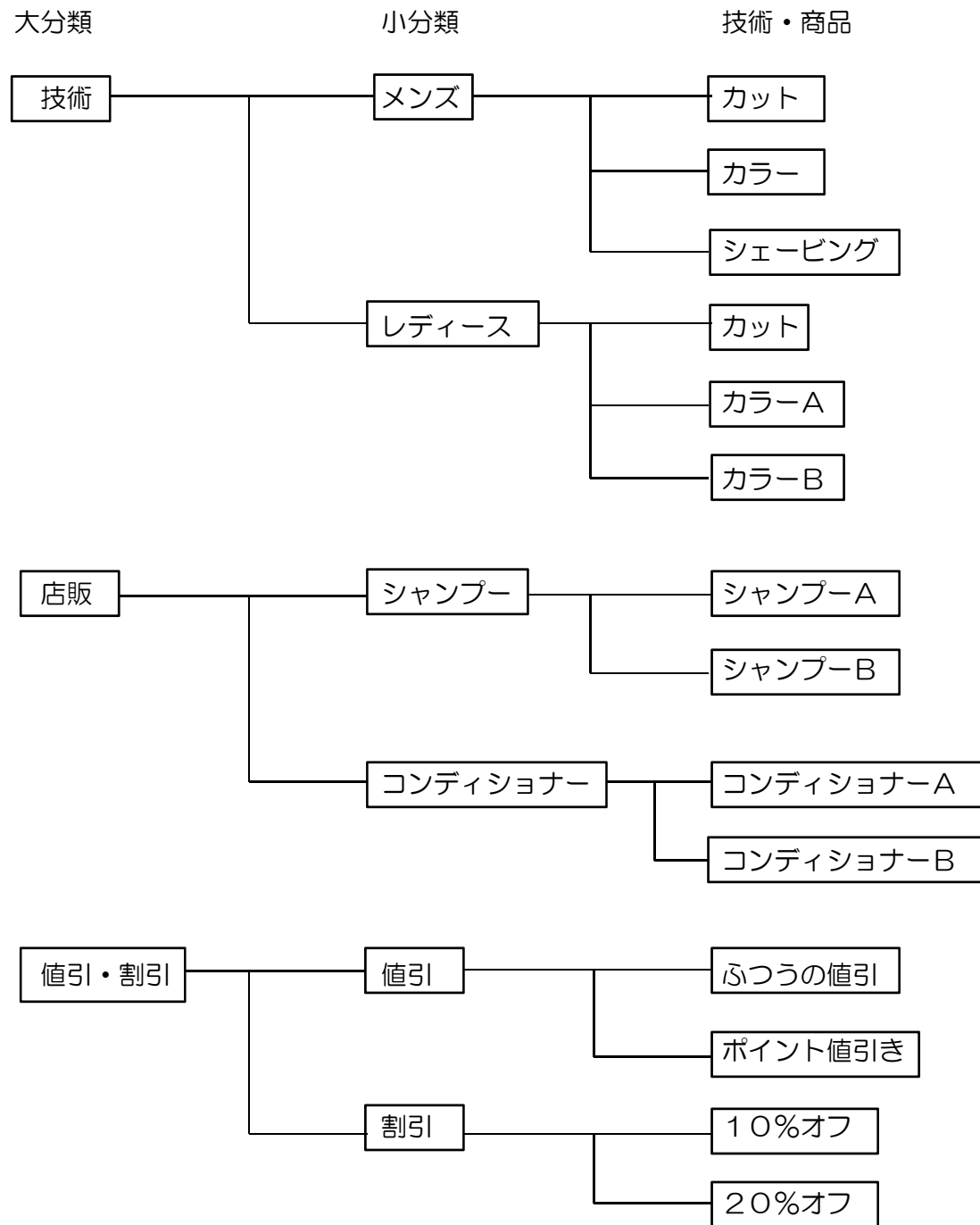
F1出力		F3消除		<	<<	>>	>	F5検索	F6新規	F7登録	F8複製	F9終了
------	--	------	--	---	----	----	---	------	------	------	------	------

削除されて、新規作成画面に戻りました。「F5：検索」を押して、削除されたかどうか確認してみましょう。

技術・商品は、あとから分析できるように

大分類・小分類・そして実際の技術と商品に分かれます。

(例)



このような階層構造をもった管理構造です。

< 技術分類マスタ の 設定 >

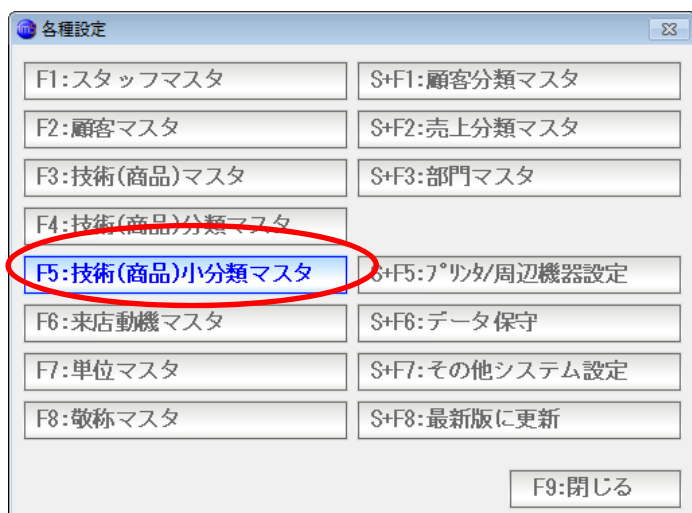
技術 店販 割引 ポイント使用 の 4つが設定されています。

通常はこのまま使います。

< 技術小分類マスタ の 設定 >



F8:各種設定をクリック



F5:技術(商品)小分類マスタをクリックします。

技術小分類マスタ

技術小分類コード

技術小分類名

フリガナ

技術分類

種別 2:割引 3:ポイント利用

消費税区分 1:税別 3:非課税

ポイント 2:非対象

F1出力 F3削除 < << >> > **F5検索** F6新規 F7登録 F8複製 F9終了

画面が開きます。最初にどのような設定が入っているかを見るために「F5:検索」を押します。

技術小分類の検索

コード

フリガナ

技術分類

コード	技術分類	技術小分類名
1	技術	カット
2	技術	シャンプー
3	技術	カラー
4	技術	パーマ
5	技術	ストレート
6	技術	着付
7	技術	特殊
8	技術	その他技術
12	技術	値引
13	技術	割増
9	店販	店販シャンプー
10	店販	店販コンディショナー
11	店販	その他店販
14	割引	割引
15	ポイント使用	ポイント利用

15個のデータが入っています。

このまま使えば良いのですが、変更の必要がありそうです。
ここでは、データを呼び出して上書き（再登録）して設定する方法を紹介します。

1 技術 カット と表示されている 1 行目をマウスでダブルクリックしてください。

技術小分類マスタ

登録 12/01/18 14:25: CL=42 修正 12/01/18 14:25: CL=42

技術小分類コード

技術小分類名

フリガナ

技術分類 ▼ 技術

種別 1:技術(商品) 2:割引 3:ポイント利用

消費税区分 1:税別 2:税込 3:非課税

ポイント 1:対象 2:非対象

F1出力 F3削除 < << >> > F5検索 F6新規 F7登録 F8複製 F9終了

1 番のカットが表示されました。まず、名称を変更します。
「メンズ」と入力します。

技術小分類マスタ

登録 12/01/18 14:25: CL=42 修正 12/01/18 14:25: CL=42

技術小分類コード

技術小分類名

フリガナ

技術分類 ▼ 技術

種別 1:技術(商品) 2:割引 3:ポイント利用

消費税区分 1:税別 2:税込 3:非課税

ポイント 1:対象 2:非対象

F1出力 F3削除 < << >> > F5検索 F6新規 F7登録 F8複製 F9終了

次に「大分類」＝技術分類を確認します。この「メンズ」は技術ですから、このまま
1 番で良いわけです。

技術小分類マスタ

登録 12/01/18 14:25: CL=42 修正 12/01/18 14:25: CL=42

技術小分類コード

技術小分類名

フリガナ

技術分類

種別 2:割引 3:ポイント利用

消費税区分 1:税別 3:非課税

ポイント 2:非対象

F1出力 F3削除 < << >> > F5検索 F6新規 F7登録 F8複製 F9終了

次に種別です。

種別には、コンピューターの自動処理の都合で3つあります。

- 1 技術(商品)・・・ 単価を設定し、売上として加算していきます。
カットやパーマなどの技術（施術）、店販商品など
通常の商品の種別は、すべて「1 技術（商品）」になります。
- 2 割引・・・・・・・・ 合計金額の10%を値引くなどの割引計算をする種別です。
- 3 ポイント利用・・・ ポイント制を行う場合に、例えば 5ポイントで500円
値引くなど、ポイントとの連動値引きをする種別です。

「メンズ」は、単価×数量を売上とする種類のものですから 1 に設定します。

消費税区分は、通常は「お店情報の設定」で設定したまま、です。
医療商品などで非課税にしたり、特殊な場合に設定します。
ここでは、2：税込のままにします。

ポイント区分は、ポイント制で商品ポイントを利用する場合に、対象とするものかどうかを設定します。

技術小分類マスタ

登録 12/01/18 14:25: CL=42 修正 12/01/18 14:25: CL=42

技術小分類コード

技術小分類名

フリガナ

技術分類

種別 2:割引 3:ポイント利用

消費税区分 1:税別 3:非課税

ポイント 2:非対象

F1出力 F3削除 < << >> > F5検索 F6新規 **F7登録** F8複製 F9終了

変更した内容をデータ登録するために「F7:登録」をクリックします。

技術小分類マスタ

登録 12/01/18 14:25: CL=42 修正 12/01/18 14:25: CL=42

技術小分類コード

技術小分類名

フリガナ

技術分類

種別 2:割引 3:ポイント利用

消費税区分 1:税別 3:非課税

ポイント 2:非対象

F1出力 F3削除 < << **>>** > F5検索 F6新規 F7登録 F8複製 F9終了

次のデータを表示させるために「>>」ボタンをクリックします。

技術小分類マスタ

登録 12/01/18 14:25: CL=42 修正 12/01/18 14:25: CL=42

技術小分類コード

技術小分類名

フリガナ

技術分類 技術

種別 1:技術(商品) 2:割引 3:ポイント利用

消費税区分 1:税別 2:税込 3:非課税

ポイント 1:対象 2:非対象

F1出力 F3削除 < << >> > F5検索 F6新規 F7登録 F8複製 F9終了

1 番の次の「2 番」シャンプーが表示されました。

レディースと入力し、 1：技術、1：技術（商品）、2：税込、1：対象 で
F7:登録し、「>>」で次のデータにうつります。

技術小分類マスタ

登録 12/01/18 14:25: CL=42 修正 12/01/18 14:25: CL=42

技術小分類コード

技術小分類名

フリガナ

技術分類 技術

種別 1:技術(商品) 2:割引 3:ポイント利用

消費税区分 1:税別 2:税込 3:非課税

ポイント 1:対象 2:非対象

F1出力 F3削除 < << >> > F5検索 F6新規 F7登録 F8複製 F9終了

3 番が表示され「カラー」と入っています。

今度は、シャンプー と入力します。

技術小分類マスタ

登録 12/01/18 14:25: CL=42 修正 12/01/18 14:25: CL=42

技術小分類コード 3 ▼

技術小分類名 シャンプー

フリガナ シャンプー

技術分類 1 ▼ 技術

種別 1 1:技術(商品) 2:割引 3:ポイント利用

消費税区分 2 1:税別 2:税込 3:非課税

ポイント 1 1:対象 2:非対象

F1出力 F3削除 < << >> > F5検索 F6新規 F7登録 F8複製 F9終了

技術分類（大分類）は、1：技術ではないので、ここで F4 キーまたは Shift+End または Alt + ↓ キーを押すか、「▼」ボタンを押します。

技術分類の検索

コード フリガナ F5:再検索

コード	技術分類名
1	技術
2	店販
3	割引
4	ポイント使用

コード F6新規追加 F7決定 F9:中止

技術分類（大分類）の一覧窓が表示されます。

2:店販 を ダブルクリックするか
↓ ↑ キーで選択し「F7:決定」を押します。

技術小分類マスタ

登録 12/01/18 14:25: CL=42 修正 12/01/18 14:25: CL=42

技術小分類コード

技術小分類名

フリガナ

技術分類

種別 2:割引 3:ポイント利用

消費税区分 1:税別 3:非課税

ポイント 2:非対象

F1出力 F3削除 < << >> > F5検索 F6新規 **F7登録** F8複製 F9終了

2：店販と入力されました。

種別、消費税区分、ポイント区分は、このままですから「F 7：登録」を押します。

技術小分類マスタ

登録 12/01/18 14:25: CL=42 修正 12/01/18 14:25: CL=42

技術小分類コード

技術小分類名

フリガナ

技術分類

種別 2:割引 3:ポイント利用

消費税区分 1:税別 3:非課税

ポイント 2:非対象

F1出力 F3削除 < << >> > F5検索 F6新規 F7登録 F8複製 F9終了

次のデータに移動します。

4番は、「コンディショナー」 「2：店販売」 「技術（商品）」「税込」「対象」で「F7：登録」します。

ここまでで、一度「F5：検索」を押して 一覧を表示してみましょう。

技術小分類の検索

コード

フリガナ F5:再検索

技術分類 ▼

コード	技術分類	技術小分類名
1	技術	メンズ
2	技術	レディース
5	技術	ストレート
6	技術	着付
7	技術	特殊
8	技術	その他技術
12	技術	値引
13	技術	割増
3	店販	シャンプー
4	店販	コンディショナー
9	店販	店販シャンプー
10	店販	店販コンディショナー
11	店販	その他店販
14	割引	割引
15	ポイント使用	ポイント利用

コード F7:決定 F9:中止

1：技術 - メンズ、 2：技術- レディース は さきほど上書き（再登録）しました。

3：店販 - シャンプー 4：店販-コンディショナーは、少ししたの「店販」の分類の中にあります。

「F9：中止」を押して、続きの設定を行いましょう。

技術小分類マスタ

登録 12/01/18 14:25: CL=42 修正 12/01/20 15:34: CL=1

技術小分類コード

技術小分類名

フリガナ

技術分類

種別 1:技術(商品) 3:ポイント利用

F1出力 F3削除 < << >> > F5検索 F6新規 F7登録 F8複製 F9終了

5番は「値引き」で、分類は「3：割引」にします。
 しかし種別は「1：技術（商品）」にします。

これは、種別の「2：割引」は、〇〇%値引きを行う特殊な種別ですので
 普通に例えば、「はじめての方、御値引き1000円」というように、金額を引き算する場合
 には種別は、1：技術（商品）、にします。

「2：割引」は、足し算や引き算ではなく、割り算を使うときに使います。

技術小分類マスタ

登録 12/01/18 14:25: CL=42 修正 12/01/20 15:34: CL=1

技術小分類コード

技術小分類名

フリガナ

技術分類

種別 1:技術(商品) 3:ポイント利用

消費税区分 1:税別 3:非課税

ポイント 1:対象

F1出力 F3削除 < << >> > F5検索 F6新規 F7登録 F8複製 F9終了

設定できたら、「F7：登録」で登録し「>>」で次に移動します。

技術小分類マスタ

登録 12/01/18 14:25: CL=42 修正 12/01/20 15:39: CL=1

技術小分類コード

技術小分類名

フリガナ

技術分類

種別 1:技術(商品) 3:ポイント利用

F1出力 F3削除 < << >> > F5検索 F6新規 F7登録 F8複製 F9終了

6番は「割引」で、分類は「2：割引」にします。

種別は「2：割引」（そのまま）にします。

設定できたら、「F 7：登録」で登録し「>>」で次に移動します。

技術小分類マスタ

登録 12/01/18 14:25: CL=42 修正 12/01/18 14:25: CL=42

技術小分類コード

技術小分類名

フリガナ

技術分類 技術

種別 1:技術(商品) 2:割引 3:ポイント利用

消費税区分 1:税別 2:税込 3:非課税

ポイント 1:対象 2:非対象

F1出力 F3削除 < << >> > F5検索 F6新規 F7登録 F8複製 F9終了

7番は不要ですので「F3：削除」を押します。

重要操作の確認

このデータを削除するにはパスワードが必要です。

削除用パスワードを入力し[OK]を押してください。

F7:OK F9:中止

データを削除する場合には、このような確認窓が表示されます。パスワードを入力しF7：Okをクリックすると、削除されます。

パスワードは初期値では「99999」です。

技術小分類マスタ

技術小分類コード

技術小分類名

フリガナ

技術分類

種別 2:割引 3:ポイント利用

消費税区分 1:税別 3:非課税

ポイント 2:非対象

F1出力 F3削除 < << >> > F5検索 F6新規 F7登録 F8複製 F9終了

削除すると、「新規登録」になります。

さきほど削除した7番の次の8番も削除したいので、「F5：検索」を押して一覧窓を表示、

技術小分類の検索

コード

フリガナ

技術分類

コード	技術分類	技術小分類名
8	その他技術	
1	技術	メンズ
2	技術	レディース
8	技術	その他技術
12	技術	値引
13	技術	割増
3	店販	シャンプー
4	店販	コンディショナー
9	店販	店販シャンプー
10	店販	店販コンディショナー
11	店販	その他店販
5	割引	値引
6	割引	割引
14	割引	割引
15	ポイント使用	ポイント利用

8番をダブルクリックするか、または ↓ ↑ キーで選択し、「F7：決定」を押します。

8番が表示されたら「F3：削除」で消します。

これを繰り返して下さい。

技術小分類の検索

コード

フリガナ F5:再検索

技術分類 ▼

1 メンズ		
コード	技術分類	技術小分類名
1	技術	メンズ
2	技術	レディース
3	店販	シャンプー
4	店販	コンディショナー
5	割引	値引
6	割引	割引

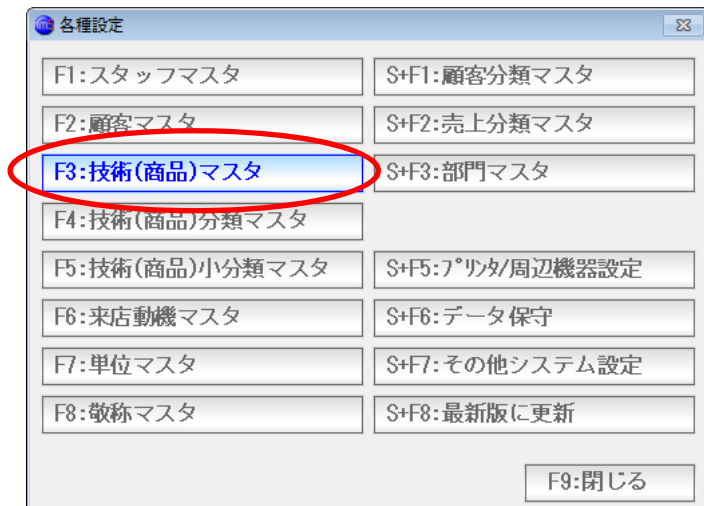
コード F7:決定 F9:中止

できあがりました。

< 技術・商品マスタ の 設定 >



F8:各種設定をクリック



F3:技術(商品)マスタをクリックします。

技術(商品)マスタ

技術(商品)コード

技術分類 ▼ 技術

技術小分類 ▼ メンズ

種別 **1:技術(商品)** 2:割引 3:ポイント利用

技術(商品)名

フリガナ

略称(印刷用)

消費税区分 1:税別 **2:税込** 3:非課税

特徴

備考

売単価 (円)

(円)

(円)

(円)

(円)

単位 ▼

F1出力

種別と消費税区分は、さきほど「技術(商品)小分類マスタ」で設定されたように自動入力されます。

売単価を設定します。

技術(商品)マスタ

技術(商品)コード

技術分類 ▼ 技術

技術小分類 ▼ メンズ

種別 **1:技術(商品)** 2:割引 3:ポイント利用

技術(商品)名

フリガナ

略称(印刷用)

消費税区分 1:税別 **2:税込** 3:非課税

特徴

備考

売単価 (円)

(円)

(円)

(円)

(円)

単位 ▼

F1出力

1050 円としてみました。

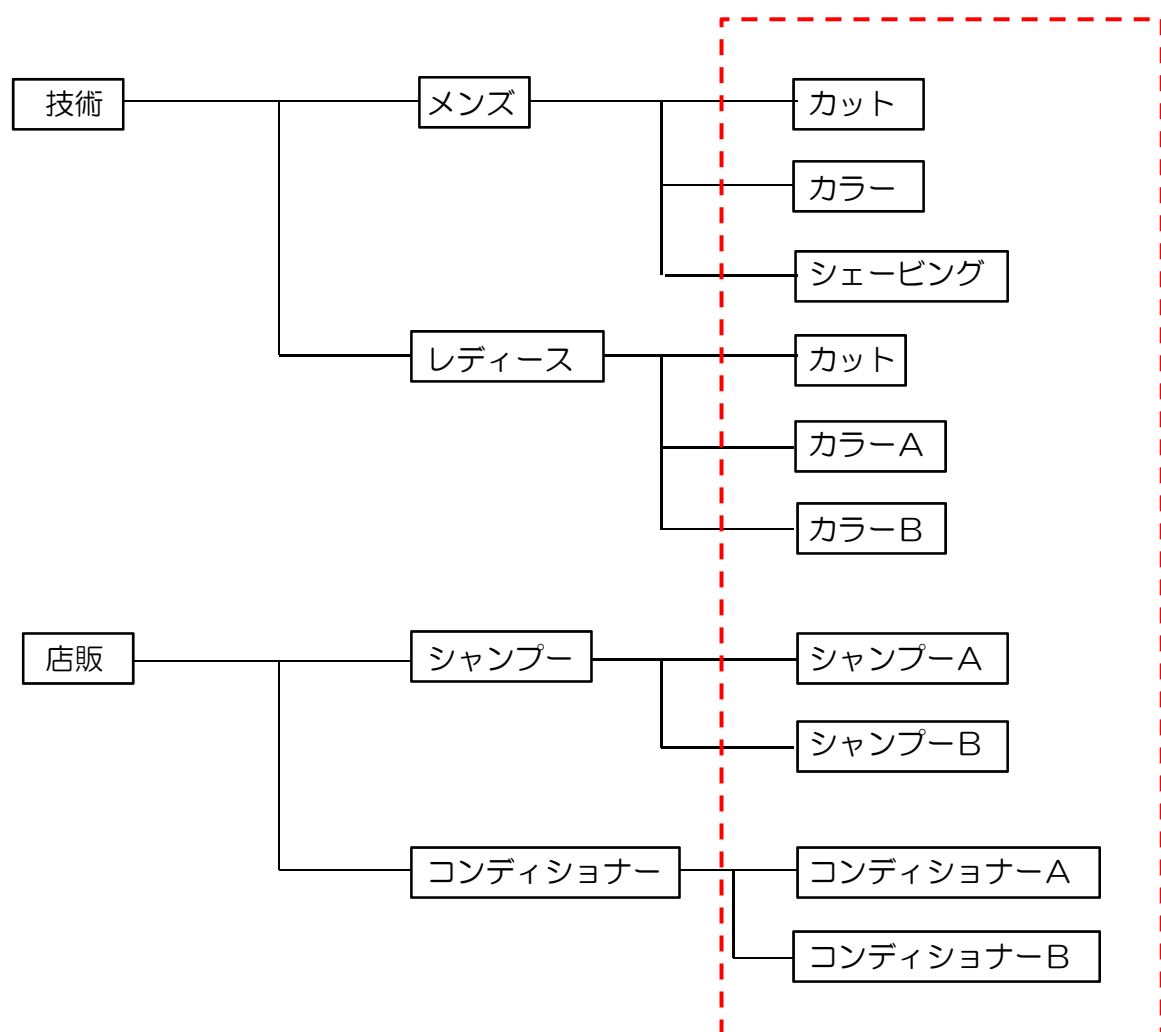
5つの枠がありますが、これは、
顧客ランク（来店回数や、金額によるランク）によって、単価を変えるときに使うために
あります。（通常は使いません）

入力できたら、「F 7：登録」を押して登録し、「>>」ボタンで次へ移動し
次の商品を入力します。

これを繰り返します。

間違った場合は、「<<」で戻ったり

F 5：検索で一覧表示し、呼び出して修正します。修正後は「F 7：登録」を押して
登録します。



これを繰り返して、技術と商品を入力していきます。

技術(商品)の検索

コード

フリガナ F5:再検索

技術分類 ▼

技術小分類 ▼

11 カット(技術-ヘア)

コード	技術分類	技術小分類	技術(商品)名
11	技術	ヘア	カット
12	技術	ヘア	カラー
13	技術	ヘア	シェービング
14	技術	ヘア	カット
15	技術	ヘア	カラーA
16	技術	ヘア	カラーB
1	技術		雑品番
2	技術		技術(その他)
17	店販	シャンプー	シャンプーA
18	店販	シャンプー	シャンプーB
19	店販	コンディショナー	コンディショナーA
20	店販	コンディショナー	コンディショナーB
3	店販		店販(その他)
4	割引		値引
5	割引		割増

コード F7:決定 F9:中止

「F5：検索」で一覧窓を表示してみると、上図のようになりました。

雑品番や、技術（その他）、店販（その他）など、最初から入っているものも残っていますが、不要でしたら削除してください。

ふつうの値引きを入力します。

「F 6：新規」で新規登録画面にしてから

技術(商品)マスタ

技術(商品)コード 新規登録

技術分類 割引

技術小分類 値引

種別 1:技術(商品) 2:割引 3:ポイント利用

技術(商品)名

フリガナ

略称(印刷用)

消費税区分 1:税別 2:税込 3:非課税

特徴

備考

売単価 (円)

単位

F1出力 F3削除 < << >> > F5検索 F6新規 F7登録 F8複製 F9終了

分類、小分類、名称を設定し、「売単価」は空白のまま「F 7：登録」します。

売単価は、売上入力「レジ」時に手入力も出来ます。

この「値引き」は自由に、その場でその場で入力するために空白にしておきます。

もし、(例えば) -2000と「売単価」にマイナス値を設定すると

売上入力「レジ」時に、-2000と表示されます。

表示されても手で修正出来ます。

次にポイント値引きを入力します。

※ポイント機能は「PROFESSIONAL 版」でのみ使えますので、この事例が操作できない場合があります。その場合は、読み飛ばして下さい。

技術(商品)マスタ

技術(商品)コード

技術分類

技術小分類

種別 1:技術(商品) 2:割引 3:ポイント利用

技術(商品)名

フリガナ

略称(印刷用)

値引金額 ポイント利用で 円値引き

特徴 [特徴]
[Ctrl]+T

備考 [備考]
[Ctrl]+B

F1出力

例えば、5 P 利用で、525 円の場合の設定です。

種別を3：ポイント利用にすると、
(お店情報設定で、ポイントを使う設定になっていると)

値引金額の項目が表示されます。

「F7：登録」します。

割引を入力します。

技術(商品)マスタ

技術(商品)コード

技術分類

技術小分類

種別 1:技術(商品) 3:ポイント利用

技術(商品)名

フリガナ

略称(印刷用)

割引方法 1:税抜金額から

割引率 (% OFF)

特徴

備考

F1出力

割引の場合には、「割引率」と、税別金額から引くのか、税込金額から引くのかを設定することができます。

10%オフや20%オフなど、%毎に商品を作成して下さい。

売上入力（レジ）画面では、売上金額の合計から、（税別または税込）で割り算し値引きします。

※ 便利な自動機能ですが、価格体系によっては、非常にわかりにくく使い勝手の悪いものになる場合があります。
この場合は、「2：割引」の種別は使わないで
「1：技術（商品）」種別で、手計算＋手入力による値引きとしてください。

すべての設定が終わったら「F9：終了」で画面を閉じます。

プリンターの設定

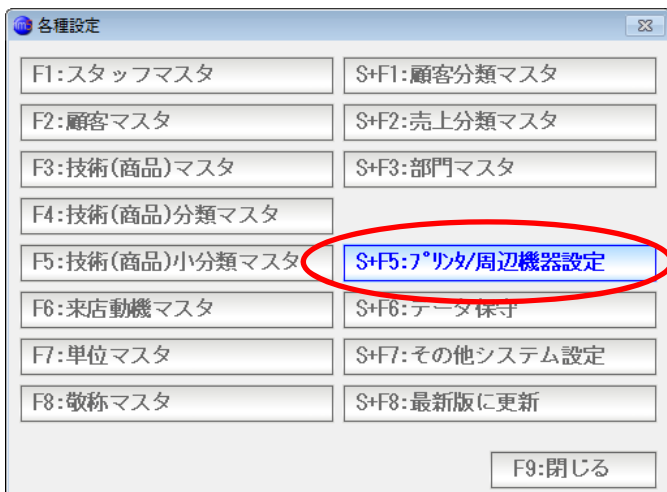
基本的には、帳票印刷用のプリンター設定は自動です。

Windows 7 の場合、XPS Document Writer が「通常使うプリンタ」になっている場合があり、このとき、印刷時に動作が固まってしまう場合がありますので

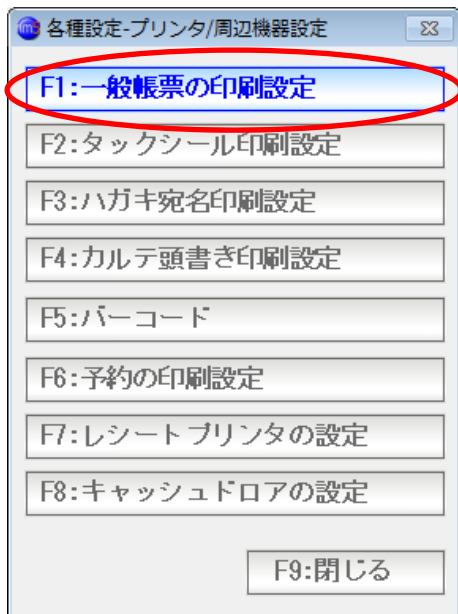
念のため、プリンタ設定を行います。



F8:各種設定 をクリック



S+F5:プリンタ/各種周辺機器設定を
クリック

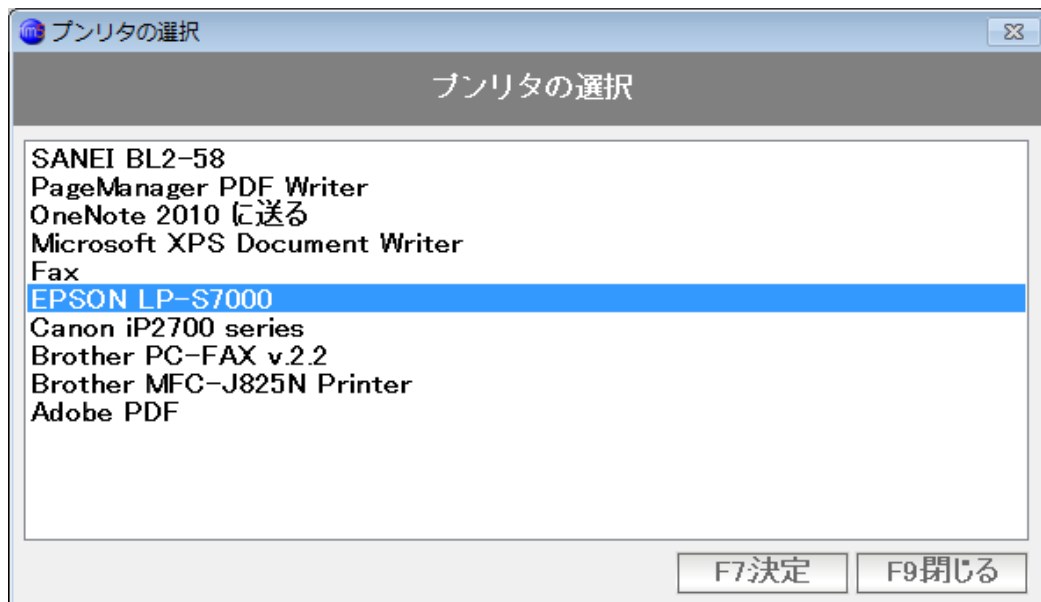


F1:一般帳票の印刷設定 をクリックします。



プリンタが、通常使っている印刷可能なプリンタであれば「F 7：設定」を押して画面を終了します。

XPS Document Writer など、不明なプリンタの場合には「▼」をクリックし



印刷したいプリンタを選んで「決定」を押し、「F 7：設定」を押して画面を閉じます。

以上で、最低限必要な設定を通して、基本的な操作を解説しました。

次は「顧客・売上マニュアル」で、日常業務の入力を行ってください。